

## 競技規則（ローカルルール）

（公社）日本トライアスロン連合（JTU）競技規則を基本とし、下記の競技規則（ローカルルール）により行います。よく読んでルールを理解して競技に参加してください。

### ◆大会競技規則とローカルルール

大会参加者は、（公社）日本トライアスロン連合（JTU）競技規則、ローカルルールにもとづき競技してください。

規則の違反に対しては罰則を適用します。罰則は、違反の程度により指導、タイムペナルティ又は失格のいずれかとなります。

### ◆競技全般

■当日朝の「競技説明会」には必ず出席して、ローカルルール、タイムペナルティの適用など重要事項を理解して参加してください。

■大会実行委員会は、大会当日の気象条件等で安全に競技が出来ないと判断した場合、競技内容を変更、一部あるいは全部を中止することがあります。

■大会日程で決められた時間（スケジュール）を厳守してください。

遅刻した場合、競技に出場できなくなります。またやむを得ずスケジュールを変更する場合があります。その場合は大会本部にて告知しますのでお見逃しの無いようにお願いします。

■第三者による特定の個人への援助（給水など）は禁止されています。競技中の選手への援助は大会主催者が用意したものだけです。

■総合フィニッシュ時は、レースナンバーカードが確認できるよう整え、サングラスを外すことを推奨します。

■選手の保護者、あるいは付き添いの方の過度な応援や暴言は、他の競技者や観覧者の迷惑になります。節度を守った声援をお願いします。

■スポーツマンシップを守り、マナーよく競技に参加してください。危険行為・他競技者への妨害・大会スタッフへの暴言等は、失格の対象となります。

■競技途中でリタイアした場合は、すみやかにレースナンバーカードと計測用アンクルバンドをはずし、必ずリタイアしたことを大会本部または審判員（オフィシャルウェアを着ています）まで届け出てください。

それ以外のコース誘導等の係員に届け出られても大会本部にはリタイアしたことが伝わりません。

■レースナンバーカードはランウェアの前胸部に四隅をしっかりと止めてください。

競技中にレースナンバーカードがはがれている場合、その場で静止させ直させる場合があります。レースナンバーベルトの使用は認めますが、競技中つねにレースナンバーカードが見えるように使用してください。

■レースナンバーカードの変造、折り込みはペナルティの対象となります。

■ランのフィニッシュ、折返し、周回チェック手前では十分に減速し大会スタッフの指示に従い、割り込みや追い越しをしないようにしてください。

■競技中に、競技を終了した選手や同伴・応援の方がコース上を移動または横断する場合は、競技中の選手に充分配慮し、大会スタッフの指示に従ってください。

■完定者は記録証（完定証）を、後日、各自でWebから入手できます。

■記録は大会会場に速報を掲示し、記録書の配布はしません。公式記録表は後日、HTAに掲載します。

### ◆スイム競技

■スイムのスタートはクラス毎のスタンディングスタートです。水辺の手前のスタートラインよりスターターの合図でスタートします。

■スタート前の招集は、各クラスのスタート15分前までにスイム会場入り口で入水チェック（計測用アンクルバンドを受け取る）を受け、待機場所で行います。

■スタート前のウォーミングアップは、各クラスのスタート5分

前までに、審判員の指示に従って行ってください。

■競技選手は、大会支給のスイムキャップを着用してください。

■ウェットスーツの着用を推奨します。

■一般（大人）で泳ぎに不安のある人は、大会本部に申し出て目印の「黄色の風船」の支給を受けてください。

■ジュニア（小学生）で泳ぎに自信のない人は、浮き具・ビート板等の使用を許可します。

■ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍測定器の使用は認めますが、その他のあらゆる用具の使用装着を禁止します。

■周回数は競技クラスで異なります。ジュニア（中学生）と一般Bは2周回しますが、周回チェックは行いません。2周回目はいったん砂浜に上がって折り返します。

■スイム競技中において、ライフセーバー及び監視員には、不安・不審な動きを取る選手への声掛けと、要救助者と判断した場合は競技を中止させ、救助搬送させる権限及び違反・危険行為を審判員に通告する任務を与えています。審判員と同様にライフセーバー及び監視員の指示に従ってください。

■体調が万全でない時には勇気を持って参加を辞退しましょう。スイム競技をしないでラン競技をするスイムスキップを許可します。スイムスタート前に審判員に申告してください。又、スイム競技を中止した場合は、ランに進めませんので、大会当日に不安のある方は事前にスイムスキップを申し出てください。

スイムスキップのランスタートは、リレーゾーンからとします。

### ◆ラン競技

■コース上は、左側通行です。

■走る・歩く以外の方法では競技は出来ません。

■ランウェアを必ず着用し上半身はだかで走らないでください。また、前開きおよび前ファスナー付きユニフォームはローカルルールにより着用を許可しますが、必ずファスナーを閉じて競技してください。

■一度フィニッシュした選手は、再フィニッシュはしないでください。また他の選手の応援・伴走等で再度コースに入らないでください。

■総合フィニッシュの直前では本人確認のためサングラスははずし、レースナンバーカードの確認ができる姿勢でフィニッシュラインを越えてください。

### ◆トランジション

■レースナンバーを表示した用具入れの「カゴ」が設置されます。各自のレースナンバーの「カゴ」の位置が各選手のスペースになります。これから競技に使用する全ての用具は、この各自のスペース内に置かなければなりません。ランシューズ（1足）は、「カゴ」の前の床の上に置くことができます。

競技が終了して使い終わった用具は、全てこの「カゴ」の中に収納しなければなりません。

スイム後のウェットスーツなどが「カゴ」の外に散らかっている場合は、戻って収納をして頂く場合があります。

■指定のトランジションスペース内で着替えてください。なお、オープンスペースではみだりに裸にならないでください。

■トランジションエリア内は、選手・大会スタッフ以外の立ち入りは禁止です。同伴・応援の方にもお知らせください。

■競技を終了した選手のトランジションエリア内の立ち入りは、他の競技中の選手に充分配慮し、大会スタッフの指示に従ってください。

### ◆エイドステーション・その他

■エイドステーションでのコップ、ゴミなどは指定の場所で捨ててください。後続競技者の安全と、地元への迷惑にならないようコース上、コース脇に捨てないようにお願いします。

### ◆リレー

■トランジションエリアにあるリレーゾーンで次走者に計測用アンクルバンドを渡してリレーしてください。

2人の合計タイムがチーム成績となります。